

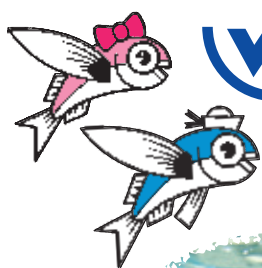


NATIONAL WAKASAWAN YOUTH OUTDOOR LEARNING CENTER



# 国立若狭湾青少年自然の家

## 2019概要



海の道 若狭湾



# ようこそ 国立若狭湾青少年自然の家へ

## 活動プログラム

### 海の活動

- カッター
- スノーケリング
- シーカヤック
- 水泳
- 磯釣り
- 磯観察
- 磯あそび
- ボート
- グラスボート
- カヌー
- 大だらい
- 組立式いかだ

### 森の活動

- オリエンテーリング
- トビーの森の探検隊
- リングリングゴルフ
- グリーンウォッチング
- ハイキング
- ナイトハイキング
- 漁り火のつどい（キャンプファイヤー）
- 野外炊飯
- ハンティングゲーム
- 森の宿泊体験
- テント泊

### クラフト活動

- うるしダルマ
- 若狭めのう
- 若狭塗り箸
- ストーンペインティング
- 焼き板工作
- ブラホビー
- 木のアクセサリー
- 竹トンボ
- 紙皿クラフト・松かさクラフト
- 簡単押し花
- 貝殻ろうそく
- トビーの思い出万華鏡
- 葉っぱの押し絵
- 草木染め
- モビールづくり
- 木の葉の紙皿

### 総合的な学習に関する活動

- 海藻標本作り
- 塩作り
- 木の実の標本作り
- はがき作り
- 海水を使ったうどん作り
- 海水を使った豆腐作り
- 雨水の酸性度調べ
- プラント観察
- ピーチコーミング

### 室内活動

- キャンドルサービス
- スルーリングラリー
- ニュースポーツ（インディアカ・フリーテニスなど）
- 室内スポーツ（バレーボール・ドッジボール・卓球・縄跳び・大縄跳び・綱引き・バドミントン・バスケットボール・室内運動会）

### その他

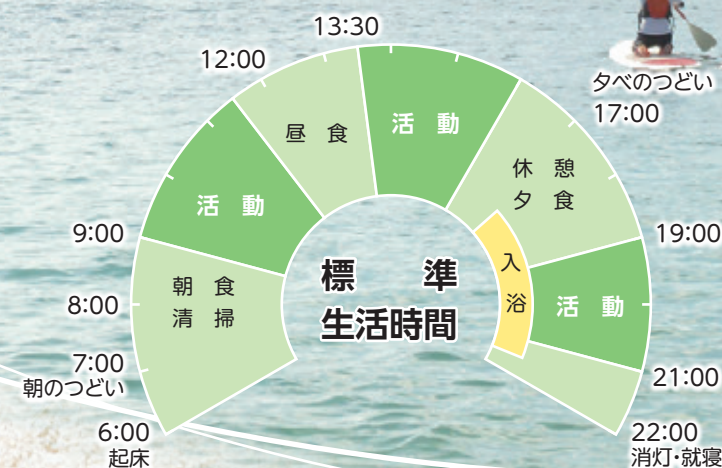
- もちつき
- 伝承あそび（けん玉・お手玉 他）
- 奉仕活動
- ビデオ鑑賞

## 生きる力を育てる体験活動

国立若狭湾青少年自然の家を利用した集団宿泊活動や自然教室などでは、子供たちが普段学校や家庭では体験できないような様々な活動を体験することができます。

自然体験活動では生きる力を育てるとともに、子供たち同士あるいは先生方や指導者の方との相互理解、心のリフレッシュなどを図ることができます。

生活体験活動では、宿泊等を通して基本的生活習慣を身につけるとともに、子供たち同士で互いに生活ルールを守り、信頼関係を深め、仲間意識を培うことができます。



## 沿革

昭和50年度	国立第9少年自然の家を福井県小浜市に設置することを決定
昭和54年度	学識経験者からなる国立少年自然の家創設調査協力者会議を設置し、施設整備に関する基本計画を策定
昭和56年～59年度	基本工事及び本体工事
昭和58年10月1日	文部省内に「国立若狭湾青少年自然の家（仮称）設立準備室」を開設
昭和59年4月11日	文部省令の改正により「国立若狭湾青少年自然の家」設置、現地において業務を開始
昭和59年9月1日	事業開始、宿泊定員200人でスタート（昭和60年7月20日から宿泊定員300人）
昭和60年10月6日	文部大臣の主催で開所式を挙行
昭和62年4月21日	海洋施設（艇庫・海浜用品庫）完成
昭和63年3月31日	フィールド・アスレチック施設完成
平成元年3月31日	勤労体験生産広場（夕日の広場）完成
平成元年4月22日	実利用者10万人突破
平成2年6月14日	野外活動用避難小屋（ふれあい山荘）完成
平成3年12月15日	海岸遊歩道（なぎさ遊歩橋）完成
平成4年8月7日	実利用者20万人突破
平成6年5月31日	第2キャンプ場（岩の沢キャンプ場）完成
平成6年10月25日	開所10周年記念式及び記念モニュメント除幕式を挙行
平成7年9月13日	実利用者30万人突破
平成8年5月13日	屋内多目的活動施設（トビーホール）完成
平成8年8月6日	自然観察施設完成（島の越ログハウス1棟・ログキャビン2棟・自然観察小屋2棟）
平成9年3月31日	ボランティア棟完成
平成10年7月31日	砂浜整備事業完成
平成11年4月26日	実利用者40万人突破
平成12年3月31日	宿泊棟等冷房設備完成
平成12年6月30日	島の越海岸遊歩道完成
平成13年3月31日	タイドプール完成
平成13年3月31日	多目的学習室（海の学習棟）完成
平成13年4月1日	独立行政法人国立青少年自然の家に移行
平成14年7月24日	実利用者50万人突破
平成15年2月28日	生活研修棟・宿泊棟内部改修・厨房施設改修
平成15年7月22日	温水シャワー室完成
平成16年10月29日	開所20周年記念式を挙行
平成18年4月1日	独立行政法人国立青少年教育振興機構に移行 「国立若狭湾青少年自然の家」に名称変更
平成18年5月15日	実利用者60万人突破
平成21年6月1日	実利用者70万人突破
平成23年3月15日	宿泊棟空調設備他改修
平成25年2月21日	実利用者80万人突破
平成26年11月14日	開所30周年記念式を挙行
平成28年1月15日	国立オリンピック記念青少年総合センター50周年 国立青少年教育振興機構10周年
平成28年2月28日	実利用者90万人突破
平成30年8月30日	実利用者数100万人突破

## 理念「海の道 若狭湾」

我が国本土の中央部に位置し、対馬暖流がもたらす豊かな山海の恵み、東アジアとつながる歴史・文化の玄関「若狭湾」。海の道はここから全国、世界に続く。海の国の土気、青少年の生きる力を育み、この国の未来を担う志を持つ青少年の自立を図る。

そのために、豊かな自然環境、歴史・文化の資源を開発し、地域自然・観光資源とのネットワークを構築、地域の課題にも寄り添いながら、それらと連携してプログラム開発に取り組む、活気ある青少年教育施設を目指す。

## Our Song

### 生き生き若狭湾 気分はいつも上天気

詩／大森かずよし 曲／市村ひでき

1. 心の中に君がいれば 気分はいつも上天気  
波のしぶきあげてゆくよ 紺碧の海へ  
※1 セイリング オーバー ザ ウエイブ  
両手を広げ 風をつかめ  
セイリング アップ ライド オン  
海を飛ぶ 魚になるよ
2. 瞳の中にこの港を 映してほくは今たびだつ  
夢の舵をにぎりしめて 自由の海へ  
※1 くりかえし
3. いつわりのない気持ちで生きろ 心の中に大きな海を  
たとえ嵐が吹きあれても ためらうことはない  
※2 セイリング オーバー ザ ウエイブ  
あふれる希望 この手でつかめ  
セイリング アップ ライド オン  
海は呼ぶ 生き生き若狭湾  
※2 くりかえし







# 平成31年度 事業予定

## 看板事業

事業名	期間	参加対象	主な内容
海の自然学校 夏	8月3日(土)～8月10日(土) (7泊8日)	小学5年生～ 中学2年生	シーカヤックを使って、海への冒険をします。自然を体感する「長期自然体験活動」に挑戦します。
海の自然学校 冬	12月21日(土)～12月22日(日) (1泊2日)	「海の自然学校 夏」の参加者	参加者が再会する機会を設け、参加者同士の関係を深めるきっかけを作ります。

## 地域力向上事業

事業名	期間	参加対象	主な内容
若狭湾 トビーキッズのたんけん隊 「春・夏・秋・冬のたんけん」	5月11日(土)～5月12日(日) (1泊2日)	小学1～3年生	地域の自然に親しみ、地域の自然を大切に、地域で生きる人材育成を目的に、若狭湾の四季を通じた自然の中での体験活動に挑戦します。
	7月13日(土)～7月15日(月・祝) (2泊3日)		
	10月26日(土)～10月27日(日) (1泊2日)		
	1月25日(土)～1月26日(日) (1泊2日)		

## 課題を抱える青少年の支援事業

事業名	期間	参加対象	主な内容
若狭の自然の中で ～東海市「青空教室」との連携～	9月14日(土)～9月16日(月・祝) (2泊3日)	小学生、中学生	課題を抱える児童・生徒が、若狭湾の雄大な自然の中で心身をリフレッシュするとともに、様々なことに挑戦します。
わかさわん親子自然教室 「夏・冬・春」	8月10日(土)～8月11日(日) (1泊2日)	小浜市内のひとり親家庭の親子20名程度 (小学4年生以上は子供のみでの参加も可能です)	親子でともに体を動かし工夫する体験を通して、子ども達のチャレンジする心や自立への意欲を育むとともに、保護者の心身のリフレッシュの機会とします。
	12月14日(土)～12月15日(日) (1泊2日)		
	3月15日(日) (日帰り)		

## 普及啓発事業

事業名	期間	参加対象	主な内容
三方五湖サイクリング	9月21日(土)～9月23日(月・祝) (2泊3日)	小学4～5年生	三方五湖周辺のサイクリングを通して、秋の若狭路の自然や歴史、文化を学びます。
わかさで鯖体験シリーズ 「へしこ作り・なれずし作り・さば缶を使った料理」	4月13日(土)～4月14日(日) (1泊2日)	どなたでも	「鯖」を活用した若狭地方の伝統的な「へしこ作り」や「なれずし作り」、普段の料理に使える「さば缶」を使用した料理体験を通して、地域に伝わる食文化の大切さを発見します。
	11月2日(土)～11月3日(日) (1泊2日)		
	1月18日(土)～1月19日(日) (1泊2日)		
親子を対象とした通年事業 「海の声キャンプ・森の声キャンプ・冬の声キャンプ」	8月31日(土)～9月1日(日) (1泊2日)	幼児を含む親子	自然の素晴らしさを味わい、自然への興味や理解を深めたり、親子の会話機会やコミュニケーションの一助となるよう、親子で一緒に若狭湾の自然の中で思いっきり遊びます。
	11月16日(土)～11月17日(日) (1泊2日)		
	2月8日(土)～2月9日(日) (1泊2日)		

## 地域ぐるみで体験の風をおこそう運動推進事業

事業名	期間	参加対象	主な内容
わくわく体験塾	10月12日(土)～10月14日(月・祝) (2泊3日)	小学4年生～ 中学3年生	近隣の教育施設と連携して行う事業です。若狭地域の歴史・文化体験や海の活動を通して、若狭地域のすばらしさに気づき、環境の大切さを学びます。
ファミリーフェスティバル① ～海で遊ぼう!～	8月24日(土)～8月25日(日) (1泊2日)	幼児、小学生を含む家族	若狭湾での海の活動プログラム、水泳を中心に体験できる機会を設け、夏のを満喫していただきます。
ファミリーフェスティバル② ～海のスポーツに挑戦しよう!～	9月28日(土)～9月29日(日) (1泊2日)		普段、少人数グループや家族に対して提供していないシーカヤックやスノーケリング、SUPが体験できる機会を設け、海の魅力を知っていただきます。
ファミリーフェスティバル③ ～あそび・ものづくり～	11月30日(土)～12月1日(日) (1泊2日)		当施設や各地域で提供しているクラフト体験を集結させ、各地域の伝統や食、遊びを家族で堪能できます。
「小浜市・若狭町・高浜町」と連携した幼児期の自然体験活動普及事業 わかさわん しぜんはともだち	①海の体験 8月下旬 ②山の体験 10月中旬 ③冬季園訪問 12月～1月	小浜市・若狭町・高浜町の保育園に通う園児(5歳児) ※小浜市は幼稚園・認定こどもも含む	若狭湾の海や山での遊びを通して、幼児期から海に親しめる子どもたちを育て、保育園・幼稚園・認定こども園での自然体験を推進します。
	①海の体験 8月下旬 ②山の体験 11月上旬		
	7月頃		

## 指導者養成事業

事業名	期間	参加対象	主な内容
自然体験活動指導者 (NEAL リーダー) 養成講習	2月22日(土)～2月24日(月・祝) (2泊3日)	高校生、高等専門学校生、専修学校生、各種学校生、大学生、社会人	青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子どもの発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を養成します。
幼児の自然体験活動指導者養成研修	7月25日(土)～7月26日(日) (1泊2日)	保育士、幼稚園教諭など幼児教育関係者及び、小中高等学校などの学校教育関係者	海の活動に対する基礎的な知識や技能、安全管理について学び、実践的な演習を通して教育効果の高い自然体験・生活体験活動の指導者を養成します。
教員免許状更新講習 (主催：福井大学)	10月5日(土)～10月6日(日) (1泊2日)	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校などの教員	学校で自然体験を行う際に必要なノウハウを学ぶことができる、学校の先生を対象とした事業です。

## ボランティア養成・研修事業

事業名	期間	参加対象	主な内容
ボランティア養成セミナー	5月3日(金)～5月5日(日) (2泊3日)	高校生、高等専門学校生、専修学校生、各種学校生、大学生、社会人	青少年野外教育施設等でのボランティア活動の役割について理解を深めるとともに、ボランティア活動に対する意欲を高める機会とします。
ボランティア養成セミナー (実技編)	6月頃		夏の海活動、特にスノーケリング・シーカヤックの技能・技術向上をねらいとしています。
【ボランティア自主企画事業】 若狭湾！子どもキャンプ	10月頃	小学3・4年生	若狭湾の自然の中で思いっきり遊ぶことを通して、自然の素晴らしさを味わわせるとともに、仲間と協力しながら様々な活動にチャレンジすることを通して、協調性や自立心を育てます。

## 調査・研究

事業名	期間	参加対象	主な内容
教科等に関連付けた体験活動プログラム	通年	小浜市内外海小学校 小浜市今富小学校 他	次期小学校学習指導要領に向け、集団宿泊活動で行う体験活動を教科等との関連を図り、各学校の年間指導計画に位置付けられるように学校と連携したプログラム開発及び指導案の作成を行います。
中部・北陸ブロック次長プロジェクト	通年	対象事業への参加者	青少年の各年齢期における体験活動のプログラム開発とその効果の検証を行います。



## The main activities facility 主な活動施設

- 野外炊飯場（島の越・岩の沢）
- ログハウス2棟（島の越・岩の沢）
- ログキャビン4棟（島の越・岩の沢）
- ふれあい山荘
- 夕日の広場（多目的広場）
- テントサイト（島の越・岩の沢・鏡崎）
- タイドプール
- ハイキングコース  
チャレンジコース・やまももコース  
鏡崎コース・展望コース・せせらぎコース  
森林浴コース
- カッター・桟橋・多目的桟橋
- トビーホール（多目的体育館（床暖房完備））
- 海の学習棟（海の学習室・温水シャワー付き更衣室）
- 生活研修棟（研修室1・研修室2・研修室3・  
オリエンテーション室・プレイホール）



野外炊飯場（岩の沢）



ログハウス（岩の沢）



海の学習棟



## 利用案内

Use guidance

### ご利用できる団体について

- 学校（小・中学校、高等学校、専門学校、短大、大学等）
- スポーツ団体、青少年団体
- PTA、公民館、青年団、婦人会、老人会
- 官公庁、企業、各種団体
- 幼稚園、保育園
- 家族、グループ、サークル 等

次の条件を満たす団体であれば、どなたでもご利用いただけます。

- 成人または青少年の引率者を定めている。
- 具体的な研修目標や計画を持っている。

### ご利用の目的について

自然体験 集団宿泊活動 お泊り保育 遠足・修学旅行 新入生オリエンテーション 企業研修 部活動・サークル活動 ゼミ合宿 レクリエーション 等  
様々な目的で利用できます。

次の目的では利用できません。

- ①特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他の政治的活動
- ②特定の宗教を支持し、又はこれに反対するための宗教教育その他の宗教的活動
- ③専ら営利を目的とする活動

### 主な経費について

- 施設使用料 青少年団体…無料  
一般団体…1人1泊あたり800円
- シーツ等洗濯料…1人（組）あたり300円
- 食費

	1日3食	朝食	昼食	夕食
3歳以下	無料	—	—	—
4歳～未就学児	1,340円	370円	430円	540円
小学生	1,600円	440円	510円	650円
中学生以上	1,640円	450円	520円	670円

※この他に活動によっては材料費が必要な場合があります。  
※食物アレルギー対応メニュー等は食堂とご相談ください。

- 特定研修活動実施経費（実費にかかるもの）  
カッター活動…乗艇者1人につき1回300円  
（大人・子供 同額）  
うるしダルマ…1人あたり950円

※2019年10月1日より消費税率引上げが実施された場合には、施設使用料、食費等の改定を行う予定です。

### 冬季の利用について

当所では、冬季の利用者が比較的小さい時期（11月1日～3月15日）に特例を設けています。

- マイクロバスによる送迎
- トビーホール（体育館）の床暖房
- 特別食の提供
- 事前打ち合わせの簡素化  
※利用団体の希望によりプログラム・食事等相談に応じます。

### 利用できない日

年末・年始（12月28日～1月4日）  
その他、施設・安全点検等特に指定した日

### 申し込み方法

宿泊等の空き状況は、電話でお問い合わせいただくか、当青少年自然の家ホームページをご覧ください。ご予約は電話で受け付けます。

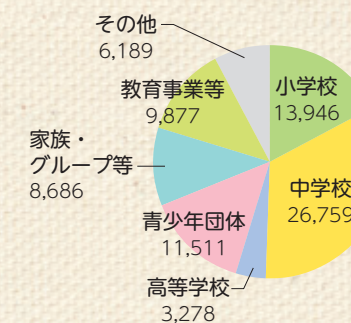
- 25名以上の団体（24名以下の学校教育団体・青少年教育団体を含む）  
利用を希望する日の1年前の同月1日より同月14日まで受け付けます。
- 24名以下の団体・グループ・ファミリー  
利用日の2か月前の同日より受け付けます。

### 申し込み・問合せ先

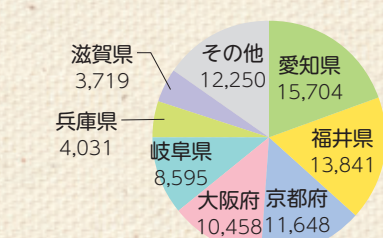
TEL (0770) 54-3100 FAX (0770) 54-3023  
URL <http://wakasawan.niye.go.jp/>  
E-mail [wakasawan@niye.go.jp](mailto:wakasawan@niye.go.jp)

利用状況 平成29年度 利用者数 80,246人

### 平成29年度 団体別利用状況

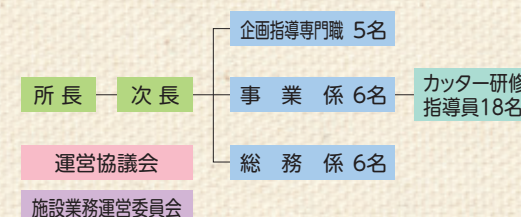


### 平成29年度 都道府県別利用状況



※「その他」は教育事業も含む



### 組織







## 所章



半円弧  は、若狭湾と文化のCULTUREの頭文字C、 はWAKASAの頭文字で、リアス式海岸線を示します。

 は国立若狭湾青少年自然の家が設置された田島半島の地点を示すとともに、少年が両腕を海（日本海）に向かって大きく広げたたくましく成長していくことを象徴しています。また、 の形は田島の鳥を現わし、この鳥は大陸から古代文化をいくたびか運んできた文化使節を示すものです。カラーはネイビーブルー。

（製作者・斎藤光夫氏）

## マスコットキャラクター（トビー）



トビーは国立若狭湾青少年自然の家のキャラクターです。若狭の海をスイスイ飛び交うトビウオに子ども達の健やかな成長をたくしています。

## 体験の風をおこそう

近年、社会が豊かで便利になるなかで、子どもたちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している傾向にあります。「体験の風をおこそう」運動は、子どもの健やかな成長に、体験がいかに大切かを広く発信し、社会全体で体験活動を推進する機運を高める運動です。

## アクセスマップ



### 自家用車

敦賀方面より（高速道路：舞鶴若狭自動車道）

…………… 若狭三方ICより約30分

若狭三方IC→国道27号→国道162号→県道249号→青少年自然の家

滋賀県高島市今津町方面より（京都市内・大阪府より）

…………… 近江今津より約1時間

滋賀県高島市今津町→国道303号→国道27号→県道22号→

国道162号→249号→青少年自然の家

舞鶴方面より（高速道路：舞鶴若狭自動車道）

…………… 若狭上中ICより約20分

若狭上中IC→県道22号→国道162号→県道249号→青少年自然の家

### JR利用（小浜線）

敦賀方面より…………… 三方駅下車

舞鶴方面より…………… 上中駅下車

近江今津方面より…………… 近江今津駅よりJRバスで上中駅下車

三方駅・上中駅よりタクシー利用（5,000円前後）

# 海之道 若狭湾

お申し込み・お問合わせ先



独立行政法人  
国立青少年教育振興機構

**国立若狭湾青少年自然の家**

〒917-0198 福井県小浜市田島区大浜 TEL.0770-54-3100 FAX.0770-54-3023

Mail: wakasawan@niye.go.jp URL: <http://wakasawan.niye.go.jp/>